

【施設状況】

グループ名称	長野運動公園総合運動場、西和田テニスコート							
指定管理者名	シンコースポーツ株式会社				法人番号	3010501006491		
所管課	主	151000	スポーツ課	副				
構成施設	3494	長野運動公園総合運動場						
	6043	西和田テニスコート						
施設分類	02	施設貸出1型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	総合市民プール(通称「アクアウィング」)、総合体育館(主・補助・柔道場・剣道場)、テニスコート(10面)、陸上競技場、補助競技場、屋外ゲートボール場(3面)、運動広場、弓道場(近的・遠的)、マレットゴルフ場(18ホール)、西和田テニスコート(4面)、公園施設(芝生広場・遊具・徒渉池等)、野球場(県営)							
施設設置目的	市民が緑の中でスポーツ、野外レクリエーションが楽しめるように、また全国規模の競技会が開けるように、という基本構想をもって計画され建設された。							
基本方針等	長野運動公園総合運動場は、長野市を代表する基幹運動公園として、自然環境と調和し、世代を越えた幅広い年代層にスポーツ活動の場と憩いの場を提供することのできる施設となることを目指しています。さらに利用者に質の高いサービスと環境を提供することにより、利用増を図ることを求めています。							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設貸出(一般利用) ・スポーツ教室(プール・体育館・テニスコート) ・スポーツ用品販売 							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	シンコースポーツ株式会社			指定回数	3 回	
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
	プール	人	141,237	140,031	135,655	123,747	91%	
	体育館	人	136,803	135,403	130,841	80,719	62%	
	陸上競技場	人	114,573	115,079	107,365	99,449	93%	
	テニスコート	人	58,410	56,691	59,476	50,212	84%	
	弓道場	人	16,125	15,630	16,117	15,707	97%	
	運動広場	人	4,817	3,996	4,541	3,460	76%	
	西和田テニスコート	人	16,534	15,320	15,262	15,666	103%	
(特記事項) ・体育館 令和元年東日本台風避難所開設に伴う休止期間:令和元年10月12日~12月31日 ・アクアウィング、体育館 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休止等期間:令和2年3月7日から3月31日								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用の許可に関する事務 施設及び設備の維持管理に関する業務 施設の利用の取り消しに関する事務 利用料金の收受に関する業務 予約システムによる利用許可の申請等に関する業務 長野運動公園の管理に関して市が必要と認める業務 						
	自主事業	【プール教室】15項目 肩こり腰痛改善アクア、幼児水泳教室、子供水泳教室、ジュニア水球、はじめてダイビング、すいすいクロール、プライベートレッスン等 【フロア等教室】34項目 子供体操教室、ジュニア卓球、健康体操、太極拳、大人バレエ教室、ヨガ、ピラティス、ジュニアサッカー、テニススクール等 【その他】 物販販売、トレーニングジムの設置、イベントの開催			【プール教室等】 プール利用者を対象とした骨密度測定(4回)を実施 【フロア教室等】 キッズヒップホップ・ベリーダンス発表会、子どもバレエ発表会、フロア教室無料体験イベントを各1回開催 【イベント等】 ニチレイチャレンジ特別泳力検定会(県内外から84名が参加)			
サービス維持・向上の取組み(広報等)	・ホームページやチラシ、SNS等を利用しPR活動の成果と参加者ニーズを把握。週80以上の教室を実施し、集客に努めている。 ・プールで週2回無料水泳教室を開催。・ダイビングプールを使用した各種体験会の開催。・体育館でバドミントン、フットサル、バスケットのフリータイムスポーツの開催。							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価	
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法		利用者アンケート
		(2) 調査、会議等の内容		利用者アンケートを6施設に設置し、129件の回答を得た。
(3) 調査、会議等の結果		調査項目 ①接客対応 とても良い 9.3% 良い49.6% 普通30.2% あまり良くない 7.8% 良くない3.2% ②施設及び設備 とても良い13.2% 良い48.8% 普通24.8% あまり良くない 9.3% 良くない3.9% ③各種教室 とても良い74.8% 良い14.7% 普通 9.1% あまり良くない 1.4% 良くない 0% ④駐車場、自販機等 とても良い 5.4% 良い42.6% 普通27.1% あまり良くない18.6% 良くない6.2% ⑤総合的満足度 とても良い10.9% 良い55.0% 普通20.9% あまり良くない 9.3% 良くない3.9%		
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価	・アンケート結果から総合満足度が、とても良い、良いを含め65%であり、利用者の評価が高い。 ・受付の対応がよい。(アクアウィング) ・大会で怪我をしたが、受付の方がすぐく面倒を見てくれて助かった。(総合体育館) ・マシンの使い方をきちんと説明してくれるスタッフに感謝しています。(トレーニングルーム)		
	(2) 苦情・改善等の要望事項	・血圧計を新しくしてもらいたい。(アクアウィング) ・大会等が多く利用できる日が少ない。(アクアウィング) ・フリーウエイトエリアが混んでいる。トレッドミルの台数を増やしてもらいたい。(トレーニングルーム)		
	《対応措置》	・新しい血圧計を購入し設置した。(アクアウィング) ・短時間でも開館できるようにした。(アクアウィング) ・ベンチプレス、パワーラック、ベンチを1台ずつ、トレッドミルを2台増設した。(トレーニングルーム)		

4

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
収入	利用料金	90,980,000	利用料金	81,487,453	歳入	使用料	1,734,400	使用料	1,831,690	
	指定管理料	331,898,000	指定管理料	346,093,482		雑(納付金)		雑(納付金)		
	委託料		委託料			行政財産目的外使用料	882,500	行政財産目的外使用料	888,836	
	販売収入等	7,000,000	販売収入等	5,869,755		貸付料		貸付料		
	その他収入		その他収入	160,915		その他	146,683	その他	140,505	
計	429,878,000	計	433,611,605	計	2,763,583	計	2,861,031	3		
支出	人件費	82,900,000	人件費	89,630,732	歳出	指定管理料	346,093,482		指定管理料	303,546,000
	設備管理費	167,222,818	設備管理費	160,569,668		委託料	5,706,949		委託料	5,670,000
	備品購入費	7,000,000	備品購入費	7,010,246		需用費			需用費	
	修繕費	9,500,000	修繕費	7,889,701		役務費			役務費	
	光熱水費	130,162,964	光熱水費	148,911,894		使用料・賃借料	12,514,544		使用料・賃借料	10,111,860
	事業費	3,054,630	事業費	2,398,369		修繕費			修繕費	
	事務経費	793,000	事務経費	1,059,388		工事請負費	2,450,100		工事請負費	3,449,120
	本社経費	21,493,988	本社経費	21,680,580		備品購入費			備品購入費	
	その他	7,750,600	その他	8,636,277		その他	1,433,905		その他	2,481,144
計	429,878,000	計	447,786,855	計	373,203,056	計	325,258,124			
自主事業	収入	62,270,000	収入	60,219,187						
	支出	45,842,000	支出	49,827,666						
自主事業損益	16,428,000	自主事業損益	10,391,521							
損益	16,428,000		-3,783,729	差引	-370,439,473		-322,397,093			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								20.0%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				予算計上時に歳入額に応じた一定割合を本社経費として計上している。決算においては、歳入額が増加したことに伴い本社経費が増額となった。						

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 社員13名、アルバイト64名 計77名(内市内在住者65名) アクアウィング59名、総合体育館6名、陸上8名、テニスコート4名		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

6 危機管理体制

※すべて☑で、「3」。1か所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	5	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価			
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	4			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・地元雇用を積極的に推進し、優れた人材の発掘と育成 ・地域連携による活気ある施設運動の実現 ・市内業者との連携及び活用 ・施設の安全へ向けた啓発事業の展開 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地元雇用を積極的に推進し、優れた人材の発掘と育成 ・地域連携による活気ある施設運動の実現 ・市内業者との連携及び活用 ・施設の安全へ向けた啓発事業の展開
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・地元雇用を積極的に推進し、優れた人材の発掘と育成 ・地域連携による活気ある施設運動の実現 ・市内業者との連携及び活用 ・施設の安全へ向けた啓発事業の展開 				

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>地域の連携</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>72</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	8	
事業収支	3	12	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	5	20	
地域連携	4	8	
合計得点		72	

評価理由

- ・「施設の有効活用評価」について、利用者は、前年度と比較すると全体として約80,000人ほど減となった。主な要因は、令和元年東日本台風災害により総合体育館は長期間避難所として運営されていたため50,000人ほど減となり、3月は、新型コロナウイルス感染症の影響によってアクアウィングが休館となった。なお、教室等の個人向けの事業を増やし利用者増に努めており、総合体育館では、予約がない土日に指定管理者主催の大会を開催し、施設の有効活用を図ったため評価を「3」とした。
- ・「利用者評価」については、利用者の評価が好評で特に各種教室に対する評価が高く、期待を上回る管理運営がされたことから評価を「4」とした。
- ・「事業収支評価」については、都市ガスの単価高騰による光熱水費の増加により指定事業では赤字となったものの、自主事業で多くの教室を行うなど黒字となっており、全体として意欲的な事業展開がなされたことから、評価を「3」とした。
- ・「危機管理体制」について、受電ケーブル故障による停電時には、迅速に復旧を行い営業を早急に再開するとともに原因究明と本復旧作業を速やかに行った。また、令和元年東日本台風災害の際、避難所開設前に住民が避難してきた状況であったが、適切に受入れを行い、避難所開設の際も、迅速に対応したため評価を「5」とした。
- ・「地域連携」について、職員数77名の市内内在住者が65名おり、市内雇用率が84%と高い雇用率となった。また、修繕工事等も市内業者を積極的に採用したことから評価を「4」とした。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設老朽化に伴う事故の防止を踏まえ、継続して修繕箇所の早期発見を行うよう施設巡回を強化するとともに、大規模改修を視野にいたした施設改修箇所の優先順位付けを行う。 ・安定的に利用者を獲得していくために、スポーツイベント等の開催を行い集客に努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設巡回を行い、修繕箇所の早期発見に努め、事故防止に取り組んだ。 ・大規模改修を視野にいたした施設改修箇所の優先順位について更に精査した。 ・利用者確保のため、各種教室を開催するなどし、利用者確保に努めた。 	
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症防止対策を引き続き実施していく。 ・施設老朽化に伴う事故の防止を踏まえ、継続して修繕箇所の早期発見を行うよう施設巡回を強化するとともに、大規模改修を視野に入れた施設改修箇所の優先順位付け精査していく。 ・アクアウィングについて、合宿の受け入れなどの合宿誘致を積極的に行う。 ・利用者の満足度向上のため、施設や備品等の改修を積極的に進め、利用者の増加を図る。 		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・利用者から要望の多かった12月～3月陸上競技場利用時間の延長を実施。
- ・日本水泳連盟協力のもとシンコースポーツと長野県水連が主催になり、ニチレイ特別泳力検定会を実施、84名参加。検定会に合わせ競泳オリンピック選手2名による水泳教室も実施。
- ・無料の飛び込み体験会を年4回、アーティスティックスイミング無料体験会を年2回実施。
- ・フロア教室無料体験会の実施。
- ・50mプール、プールサイドにてホットヨガ、ホットピラティス体験教室の実施。
- ・トレーニングジムの増設とマシン入替の実施。
- ・50mプールの短水路開放を行い、水深を4種類に分け、水深60cmの子供用プールや、水深1.6mの飛び込み練習コース等を設け、またキッズスライダーもプールサイドに設置し幼児から競技者まで楽しめるようなイベントを開催。
- ・体育館にフリーWi-Fiの設置。
- ・アクアウィングで無料のハンドマッサージと骨密度測定会を実施。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・PPSの導入、ESCO事業を引き継ぎ水光熱費の削減に取り組んでいる。
- ・スタッフが複数施設で業務出来るようマルチジョブシステムを取り入れている。
- ・利用状況や気候に応じた機器の運転を行い、水光熱費削減に取り組んでいる。
- ・休館日前日にはプールにプール保温シートを敷き水温の低下を防ぎ水光熱費の削減に取り組んでいる。

③ その他

- ・シンコースポーツ杯ソフトバレーボール大会を主催し利用者の親睦、生涯スポーツの普及に取り組んでいる。参加45チーム、360名参加。
- ・運動公園アクアウィング前広場にて地域活性化、近隣住民の交流の場作り等を目的にシンコースポーツ主催でフリーマーケットを開催した。
- ・アクアウィングでのデンマーク競泳チーム合宿へ全面協力。
- ・地域住民とスタッフの交流を図るため地域住民等からボランティアを募り、共同で運動公園美化活動を実施した。
- ・中学校の職場体験を積極的に受け入れている。
- ・令和元年東日本台風災害時に総合体育館が避難所になった時には避難所期間中24h体制で全面協力を行った。
- ・休館日や営業時間外、年末年始に他県から合宿等を受け入れ収入増に取り組んでいる。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・都市ガス単価高騰や水道漏水により水光熱費が予算より大きくオーバーしてしまい、負担が大きい。
- ・各施設で大会が重複した際の駐車場不足。
- ・施設の老朽化対策。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・水光熱費高騰や人件費高騰等により指定事業では赤字となったが、マルチジョブシステムの取り入れ、利用状況に応じた機器の運転等を行い経費削減に取り組むことができた。また、意欲的に教室などを行い自主事業では黒字とすることができた。
- ・利用者のカウント方法変更と令和元年東日本台風災害、新型コロナウイルスの影響が大きく利用者は前年度対比で減少したが、創意工夫を凝らしたイベントの開催、休館日に合宿等の受け入れを実施し、収入増に取り組むことができた。

② 次年度以降の取組み

- ・新型コロナウイルス対策
- ・施設の老朽化対策
- ・新規事業立案
- ・キャッシュレス決済の導入